

■「無料業務課題分析サービス」について

1. サービスの概要

各企業の皆様は、業務処理に於いて、日常多くの課題を認識されていると思います。その課題の中で、情報処理技術を使って解決できるとボンヤリ考えられている方もおられる事でしょう。そして、解決には、①自社に合ったシステムを買う。②エクセルをクラウドで情報共有する。③スマホ、タブレットを社員全員に持たせる。④情報共有型クラウドサービスを利用する。などを考えると思います。

それに対し、弊社からは、「まず、自社の業務分析（現状業務の図式化、課題の根本原因の発見、改善方法の立案）をしなければ、課題解決など出来ない」ということを明確にしたいと思います。

世間ではAiとかIoTとか、盛んに論じられていますが、機械が勝手にパッと判断して自動的に業務をこなすなんてあり得ません。

どんな情報処理技術を用いても、「アナタを超えて経営を合理化できません。アナタの写像なのです」

もっと分かり易く言えば、「あなた自身で自社の（例えば）在庫管理をどうするかが無ければ、何も合理化しないのです」

そこで、弊社から、アナタの業務課題を①機能と②情報の図にし、現状の課題を洗い出し、解決策の方向性を話し合うサービスを企画しました。

2. なぜ無料なの？

「無料」と聞くと「何かうさん臭い」と多くの人が思うでしょう。「何か商品売りつける」とか。

確かに、本企画は、「オンネット統合業務を導入して頂くための、緒の手順」として企画しました。

でも商品の押し売りはしません。なぜなら「オンネット統合業務の導入」は、アナタが「自社課題の解決が明確でなければ、導入しようと思わないから」を長年の事業経験で悟っているからです。

この「課題解決の明確化」に対し、多くの日本人は、「その部分は無料でしょ」と言うでしょう。

そして、自社の課題解決方法が明確になって、「さあ解決しよう」と思っても、アナタは他社比較をするでしょう。

そこで、考えました。無料の範囲は限定（後述）しますが、「無料しかない！」と。

実は、本企画は弊社にとってもメリットがあるのです。多くの話しを聞くことで「業種、業界で業務課題がどこにあるか」を認識できるからです。弊社の経験になるのです。

3. 「業務課題分析サービス」の無料範囲

申し訳ないのですが、無制限での無料サービスはできません。以下の制限を設けさせていただきます。

・分析内容

- ①業務機能図（Data Flow Diagram）とデータ構造図（Entity Relationship Diagram）の作成（ご安心ください。業務担当者に分かるようにご説明します）
- ②課題の抽出と解決案の提示、話し合い

・制限事項

- ①作業工数は、延べ、21 時間以内の制限をさせていただく（それ以上は無料では難しい）。
- ②関東地区の事業者に限らせていただく。地区外の方は、交通費実費、或いはメール、TEL で実施。

・その他事項

- ①商品選定ではなくて、「業務分析をする」という意思のあるかた。
- ②業務範囲は、販売、在庫、購買、生産及び付帯業務。
- ③作成資料は社名を削除した内容で、弊社での活用を許諾いただく。
- ④月 1 社に限らせていただく。
- ⑤その他、弊社の分析能力では対応できないと判断した場合は、お断りする場合がございます。
- ⑥「オンネット統合業務」のパンフレットは配布させていただく。

4. 申し込み方法

分析対象課題を明確（大体で OK です）にした上で、下記にご連絡ください。

【連絡先】

株式会社オンネット・システムズ

TEL: [03-5807-5081](tel:03-5807-5081)

MAIL: onnet@onnet.ne.jp

その他: www.onnet.co.jp 内の問い合わせフォーム

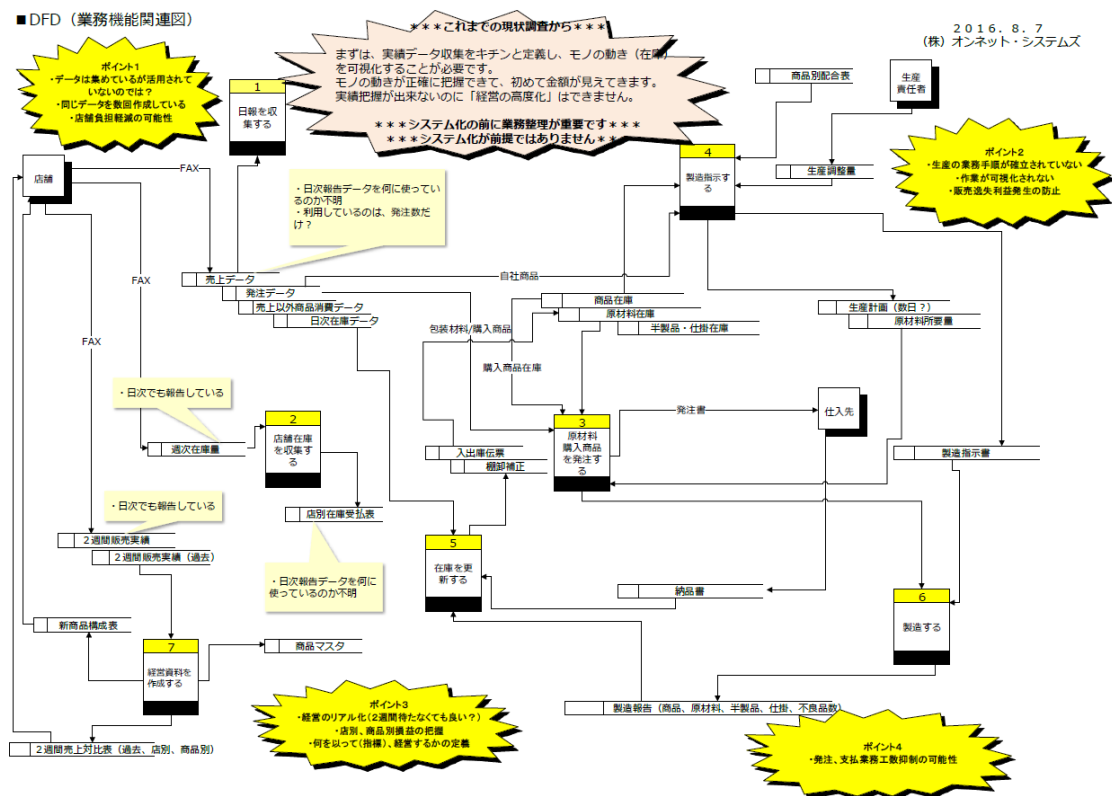
(参考)

システム = 業務機能 (DFD) + データ (ERD) です。この図を基に業務効率化、問題点について議論すれば、意味のある打ち合わせができます。以下にまとめの例を示します。

当社では、一般論、箇条書き程度のコンサルとは異なり、この様な図で、議論のポイントを明確にして皆様と話し合いたいと思っています。

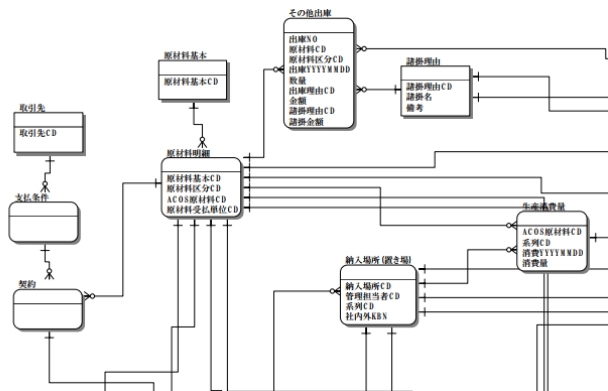
■ DFD

■ DFD (業務機能関連図)



本図は、ある和菓子製造会社の業務分析をした時のものです。業務内容をヒヤリングして、作成します。

■ ERD



ERD は、扱うデータの構造を図示するものです。無料の範囲で、詳細に作成するのは困難ですが、データの塊単位（本図では、取引先、納入場所など）では記述可能と思います。

以上